

令和6年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	芸術	科目	音楽 I	単位数	2		
年組	1年1, 2, 3組		教科書(発行所)	MOUSA I(教育芸術社)			
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点			項目	
			知	思	態		
4	ポピュラー・ソング	○校歌 ○翼をください ○若者のすべて	○	○	○	学習の目標 歌唱、器楽、創作及び鑑賞についての幅広い活動を展開し、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばすことをねらいとし、「音楽Ⅱ」「総合音楽」における発展的な学習の基礎を養う。また、我が国及び諸外国の様々な音楽文化についての理解を深める。	
5	西洋の音楽	○O sole mio	○	○	○		
6	鑑賞	○Caro mio ben ○モーツァルトの生涯と作品	○	○	○		
7			○	○	○		授業の進め方
7	日本の音楽	○日本の伝統音楽	○	○	○		中学校での学習内容を踏まえ、表現領域を「歌唱」「器楽」「創作」の三分野で構成し、表現領域全体を通じて創造的な表現力を高める。音楽に対する創造的な理解を深める観点から、表現領域の全ての分野と鑑賞領域を学習する。
8・9	器楽	○篠笛	○	○	○		
9	西洋の音楽	○Heidenröslein ○Ich liebe dich	○	○	○		
10	創作	○オノマトペによる創作	○	○	○		
11		○「コード進行」をもとに創作	○	○	○		
12			○	○	○		
12	合唱	○言わない	○	○	○	1 知識・技能 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性を理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 2 思考・判断・表現 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを甘受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもってたり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わったり聴いたりしている。 3 主体的に学習に取り組む態度 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
1	歌唱	○卒業式の歌	○	○	○		
2		○この道	○	○	○		
3	1年間のまとめ	1年間の取り扱った教材	○	○	○		
【備考】 ※ 評価の観点は愛媛県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。						評価の方法 1 課題・学習プリント 2 平常考査 3 平常学習態度 4 実技 5 出席状況	

令和6年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	芸術	科目	美術 I	単位数	2		
年組	1年1・2・3組		教科書(発行所)	高校生の美術1(日本文教出版)			
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点			項目	
			知	思	態		
4	オリエンテーション 絵画	美術とは何か 鉛筆デッサン① 鉛筆デッサン②③	○	○	○	学習の目標	
5	デザイン デザイン	色彩 三原色 三属性 配色 いろいろな絵の具 アクリル絵の具の可能性 平面構成	○	○	○		
6	鑑賞	作品鑑賞	○	○	○		
7			○	○	○		
7	絵画	創造を形に 読書感想画 アイデアスケッチ	○	○	○		幅広い美術の制作や鑑賞を通して、自分だけのものの見方で世界を見つめ、「自分なりの答え」を生み出し、それを他人と共有して、新たな問いを生み出す力を養います。
8・9		読書感想画下描き 読書感想画着色	○	○	○		
9			○	○	○		
10	鑑賞 彫刻	作品鑑賞 立体表現の魅力 塑像で表す アイデアスケッチ	○	○	○		
11		塑像で表す 制作	○	○	○		
12	鑑賞	作品鑑賞 作品鑑賞	○	○	○		
12	鑑賞 絵画	日本美術 屏風 アイデアスケッチ	○	○	○		
1		屏風 着色	○	○	○	突然自分だけの表現をすることは、とても難しいので、制作に入る前に、たくさん資料を準備しましょう。そこから自分の考えを深め、自分だけの表現活動へつなげていきます。普段生活する上でも興味のアンテナを広げましょう。	
2			○	○	○		
3	鑑賞	作品鑑賞 作品鑑賞	○	○	○		
						学習の方法	
						評価の観点	
						評価の方法	
						1 課題・学習プリント 2 平常学習態度 3 実技 4 出席状況	
【備考】							
※ 評価の観点は愛媛県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。							

令和6年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2		
年組	2年 1・2組		教科書(発行所)	MOUSAⅡ(教育芸術社)			
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点			項目	
			知	思	態		
4	ポップス	○Prelude I	○			学習の目標 「音楽Ⅰ」の学習を基礎にして、個々の能力・適性、興味・関心等に応じた活動を展開し、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばすことをねらいとする。文化的・歴史的背景などの広い視野をもって音楽に目を向け、個性的・主体的な活動を充実し、音楽文化の理解を深める。	
5	日本の歌曲	○ハナミズキ ○浜辺の歌	○	○	○		
6	器楽アンサンブル	○ギター ○上を向いて歩こう	○	○	○		
7			○				
7	創作	○演奏スタイルの変化	○				グループごとに関心や能力に応じた楽曲を選択してアンサンブルを行う。創作については音の組み合わせ方などを自らが見つけようとするなど、生徒の創意工夫を一層重視した学習を行う。
8・9			○				
9	鑑賞	○レ・ミゼラブル	○	○	○		
10	合唱	○夢やぶれて	○	○	○		
11	日本の音楽	○人形浄瑠璃	○	○	○	発声や楽器の発音原理について考えたり音楽表現にどのような効果を生み出しているかを話し合うなどして、主体的な鑑賞の活動にする。感じ取ったことを基にして、作詞者や作曲者の意図を考えながら解釈し、それを他者と伝え合うことによって楽曲固有の表情や味わいに対する理解を深める。	
12			○				
12	器楽	○篠笛	○		○		
1			○			1 知識・技能 曲想と音楽の構造や歌詞、楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。 2 思考・判断・表現 音楽を形づくる諸要素の働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽表現するかについて独自の表現意図をもっている。 3 主体的に学習に取り組む態度 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
2	歌唱	○卒業式の歌	○	○	○		
3	1年間のまとめ	1年間の取り扱った教材	○	○	○		
【備考】 ※ 評価の観点は愛媛県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。						評価の方法 1 課題・学習プリント 2 平常考査 3 平常学習態度 4 実技 5 出席状況	

令和6年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	2		
年組	2年1・2組		教科書(発行所)	高校生の美術2(日本文教出版)			
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点			項目	
			知	思	態		
4	オリエンテーション	表現とは何か 絵画の役割と写真の発明		○	○	学習の目標	
	絵画	水の演出 写実表現	○	○	○		
5	絵画	水による演出 着色	○			幅広い美術の制作や鑑賞を通して、自分だけのものの見方で世界を見つめ、「自分なりの答え」を生み出し、それを他人と共有して、新たな問いを生み出す力を養います。	
	鑑賞	作品鑑賞	○	○	○		
6	絵画	奥行や空間を捉える 透視図法 アイデアスケッチ 着色	○				
	鑑賞	作品鑑賞	○	○	○		
7						授業の進め方	
7	鑑賞	感覚の冒険		○	○	アイデアスケッチや考えた過程を大切にしているので、ワークシートを重要視しています。各課題では、まずワークシートを描き、その後制作し、できあがった作品をクラスの全員で鑑賞します。	
8・9	絵画	抽象画 アイデアスケッチ	○		○		
	9		下描き スクラッチ	○		○	学習の方法
10		鑑賞	着色 作品鑑賞	○		○	突然自分だけの表現をすることは、とても難しいので、制作に入る前に、たくさん資料を準備しましょう。そこから自分の考えを深め、自分だけの表現活動へつなげていきます。普段生活する上でも興味のアンテナを広げましょう。
	11	映像メディア表現	アニメーションで伝える コマ撮りアニメーション アイデアスケッチ 制作	○	○	○	
12			撮影	○	○	○	
			作品鑑賞	○	○	○	
12	彫刻	高村光太郎 食品サンプル アイデアスケッチ	○	○	○	授業態度や感想の記述で、主体的に学習に取り組む態度を評価します。各課題の前に先生から説明される作品の解説や、表現技法を理解できているかで、知識・技能を評価します。制作前に描くアイデアスケッチで、思考・判断・表現を評価します。	
1		制作	○	○	○		
2		彫刻	○	○	○	評価の方法	
		ケース制作	○	○	○		
3	鑑賞	作品鑑賞	○	○	○	1 課題・学習プリント 2 平常学習態度 3 実技 4 出席状況	
【備考】 ※ 評価の観点は愛媛県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。							

令和6年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	2	
年組	3年 2組		教科書(発行所)	Joy of Music (教育芸術社)		
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点			項目
			知	思	態	
4	ソルフェージュ	○ソルフェージュ	○	○	○	学習の目標 「音楽Ⅰ」及び「音楽Ⅱ」の学習を基礎にして、更に生徒の資質・能力、適性、興味・関心等に応じた活動を展開し、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を育成することをねらいとする。 授業の進め方
5	外国の歌曲	○イタリア歌曲	○	○	○	
6	器楽	○ギター	○	○	○	
7	1学期のまとめ	○実技表現テスト	○	○	○	
7	鑑賞	○ショパンの生涯と作品	○	○	○	
8・9	音楽史	○ロマン派の音楽	○	○	○	
9	世界の諸民族の音楽	○諸民族の音楽	○	○	○	
10	器楽	○篠笛	○	○	○	学習の方法 上記の「授業の進め方」に従い学習していくが、生徒の特性を十分に考慮して授業を行う。また、音楽系の進学希望者の進路実現のために進学希望先の内容に即した実技、授業を行う。 評価の観点
11	西洋の音楽	○ドイツ歌曲	○	○	○	
11	創作	○実技表現テスト	○	○	○	
12	2学期のまとめ	○実技表現テスト	○	○	○	
12	歌唱	○卒業式の歌	○	○	○	評価の方法 1 課題・学習プリント 2 平常考査 3 平常学習態度 4 実技 5 出席状況
1	1年間のまとめ	○実技表現テスト	○	○	○	
2						
3						
【備考】 ※ 評価の観点は愛媛県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。						

令和6年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	芸術	科目	音楽表現	単位数	2		
年組	3年2組		教科書(発行所)	音楽通論(教育芸術社)			
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点 知 思 態			項目	
4	楽典 ソルフェージュ	○楽典				学習の目標	
5		○譜表、リズムと拍子				音楽に関する専門的な学習を通して、 音楽的な見方・考え方を働かせ、 音楽や音楽文化と創造的に関わる資 質・能力を育成する。	
6		○聴音、楽典				授業の進め方	
7							
7	器楽演奏	○音程と音階、和音、表示法				音楽を形づくっている要素を知覚・感受し 理解させ、音楽の構造を把握し、作曲家な どの意図を探り楽曲の良さを見つけさせる。 アンサンブル、合唱などの表現形態にふさわ しい表現の仕方や楽曲の持ち味を大切に した表現を工夫し、よりよい表現を追求さ せる。表現意図をもって創造的に演奏でき るようにする。	
8・9		○形式、聴音、楽典					学習の方法
9		○個人別課題					一人ひとりに応じた多様な活動を設定す る。器楽・歌唱では個々の生徒の特性やグ ループの規模・形態等に合った教材を生徒 に選択させ、個性的・創造的な活動が出来 るようにする。生徒が主体的に課題に取り組 む活動を重視する。音楽の構造上の特徴と 美しさの関わりを理解して鑑賞する。
10		○個人別課題					
11		○個人別課題					
12	○個人別課題	評価の観点					
12	器楽演奏	○個人別課題				1 知識・技能 曲の表現内容について理解している。創意工夫 や表現上の効果を生かした表現をするために必 要な技能を身に付け、音楽表現で表している。 2 思考・判断・表現 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、 形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しなが ら、知覚したことと感受したこととの関わりについ て考え、さまざまな知識や技能を関連させなが ら、どのように表現するかについて独自の表現意 図をもってしている。 3 主体的に学習に取り組む態度 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に 取り組もうとしている。	
1	○個人別課題	評価の方法					
2	○個人別課題	1 課題・学習プリント 2 平常考査 3 平常学習態度 4 実技 5 出席状況					
3	○個人別課題						
【備考】 ※ 評価の観点は愛媛県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。							

令和6年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	2		
年組	3年 2組		教科書(発行所)	高校生の美術3(日本文教出版)			
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点			項目	
			知	思	態		
4	オリエンテーション 鑑賞 絵画	美しいとは何か 名画から受けるインスピレーション 模写	○	○	○	学習の目標	
5	鑑賞 デザイン	額制作 作品鑑賞 包装紙を作る 制作	○	○	○	幅広い美術の制作や鑑賞を通して、自分だけのものの見方で世界を見つめ、「自分なりの答え」を生み出し、それを他人と共有して、新たな問いを生み出す力を養います。	
6	鑑賞	作品鑑賞	○	○	○		授業の進め方
7							
7		版画 アイデアスケッチ 下描き 転写 彫り	○	○	○	アイデアスケッチや考えた過程を大切にしているため、ワークシートを重要視しています。各課題では、まずワークシートを描き、その後制作し、できあがった作品をクラスの全員で鑑賞します。	
8・9			○	○	○		学習の方法
9		刷り	○	○	○	突然自分だけの表現をすることは、とても難しいので、制作に入る前に、たくさんの資料を準備しましょう。そこから自分の考えを深め、自分だけの表現活動へつなげていきます。普段生活する上でも興味のアンテナを広げましょう。	
10	鑑賞 デザイン	作品鑑賞 情報の視覚化 アイデアスケッチ 制作	○	○	○		評価の観点
11			○	○	○		
12							
12	鑑賞 デザイン	作品鑑賞 卒業記念制作 アルバム	○	○	○	授業態度や感想の記述で、主体的に学習に取り組む態度を評価します。各課題の前に先生から説明される作品の解説や、表現技法を理解できているかで、知識・技能を評価します。制作前に描くアイデアスケッチで、思考・判断・表現を評価します。	
1	鑑賞	作品鑑賞	○	○	○		評価の方法
2						1 課題・学習プリント 2 平常学習態度 3 実技 4 出席状況	
3							
【備考】							
※ 評価の観点は愛媛県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。							

令和6年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	芸術	科目	美術表現	単位数	2	
年組	3年 2組		教科書(発行所)	表現と鑑賞(開隆堂)		
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点			項目
			知	思	態	
4	オリエンテーション	美の要素		○	○	学習の目標 幅広い美術の制作や鑑賞を通して、自分だけのものの見方で世界を見つめ、「自分なりの答え」を生み出し、それを他人と共有して、新たな問いを生み出す力を養います。
5	鑑賞 デザイン	鉛筆デッサン 絵巻物を読み解く 鳥獣人物戯画 絵巻物を作る	○	○	○	
6	鑑賞	アイデアスケッチ 制作	○	○	○	
7		作品鑑賞	○	○	○	
7	選択学習	ガイダンス	○	○	○	
8・9	デザイン	平面構成	○	○	○	
9	鑑賞	風景画 立体	○	○	○	
10			○	○	○	アイデアスケッチや考えた過程を大切にしているので、ワークシートを重要視しています。各課題では、まずワークシートを描き、その後制作し、できあがった作品をクラスの全員で鑑賞します。
11			○	○	○	
12			○	○	○	
12	鑑賞	作品鑑賞	○	○	○	
12	美術の流れ	美術史	○	○	○	突然自分だけの表現をすることは、とても難しいので、制作に入る前に、たくさん資料を準備しましょう。そこから自分の考えを深め、自分だけの表現活動へつなげていきます。普段生活する上でも興味のアンテナを広げましょう。
1	デザイン	ポップアップカード制作	○	○	○	
2	鑑賞	制作 作品鑑賞	○	○	○	
3			○	○	○	
【備考】 ※ 評価の観点は愛媛県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。						
授業態度や感想の記述で、主体的に学習に取り組む態度を評価します。各課題の前に先生から説明される作品の解説や、表現技法を理解できているかで、知識・技能を評価します。制作前に描くアイデアスケッチで、思考・判断・表現を評価します。						
評価の方法						
1 課題・学習プリント 2 平常学習態度 3 実技 4 出席状況						